

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時 令和8年1月24日（土）10時～11時

場 所 あいくる 会議室1

出席者	人数	6人
	碧南市	小池市長、こども課長

テーマ 子育て支援（子育て支援の輪を広げよう）

要旨

碧南市の子育て施策等について市長から説明をし、意見交換を行った。

主な意見は以下の通り

- ・施策はたくさんあるが、1つ1つ定着していないと感じるため、深めてもらえると良い。例えば、児童クラブはあるが空きがなかったり、ファミサポも存在は知っているが、使用したい時に使用できないことがある。
→支援員が不足している。児童クラブに入れたい方へ、空いている児童クラブへ送迎することも提案したが、利用者はいない状況。
- 子どもは自分の学区外に空いている児童クラブがあっても、他の子が行かないなら行きたくないという。
 - ・支援員が少ないのであれば、採用基準を変えることはできないのか。
 - 法律上定められているため採用基準は変えられない。
 - ・支援員募集の周知はどこにしているのか？
→ハローワーク、市ホームページ、社会福祉協議会ホームページ、LINEで周知している。また、夏休み期間には、給食センターの職員や学生にも周知している。
 - 児童クラブに入れず困っている親にも、支援員が不足していることを知ってもらうため、児童クラブへのポスター掲示など、親の目に入る場所に周知すると良いのでは。
 - 児童クラブへの掲示、tetoruなどの電子媒体での配信、児童クラブの申込書や決定通知書への掲載など周知方法を社会福祉協議会と検討していきたい。
 - ・児童クラブの利用状況に差があり、児童数も学校によって大きく異なるため、学校自体の再編を考えてもいいのではないか。
→生徒数の減少かつ外国にルーツがある生徒の増加もあり、今あるものを有効活用しながら、学校自体のあり方や勉強の仕方を考えていかなければいけない時期である。
 - ・幼稚園は空きがあり、保育園は満員。働きたくても働けない状態ができています。数のバランスの見直しや、幼稚園を保育園やこども園にすることはできないのか。
→全国的に公立幼稚園は減ってきている。国も民間園へ移行する流れがある。財政状況もあり今すぐに変えることは難しいが、将来的なビジョンの中では考えている。時間はかかるが順番に取り組んでいく。
 - ・給食のレシピを教えてほしい。
 - ・自分が子どもの頃より給食が質素になったと感じる。給食費無償化で国の補助だけだとより質素になるのではないか。選べるデザートやバイキングなどの給食の楽しみが減っている。

→無償化は国の補助に市が上乗せするため内容は変わらない。アレルギーを持つ児童が増えていることもある。

・育児、仕事、家事で忙しかったこともあり、施策があること自体を知らずに子育てをしてきた。今の事業には満足しているが、母親同士と横のつながりがないまま通園となった。子どもを持つ親に対しての会社の制度が手厚くなると良いと思う。

・市内に定住する人が減っている。住めば住みやすさがわかるが、伝わっていない。